

5年「流行おくれ」

【主題名】生活を見直す

【内容項目】

A「節度、節制」

(実践から授業改善のポイント)

※自分を客観的に見つめ、自分の現状を内省することの大切さについて気づき、生活を見直し、自分も家族も快適な生活ができるようにしたいという意欲につなげるために

自分の欲求を通すことばかり考え、母や弟に苛立つまゆみの姿を通して、今の自分の状況をしっかりと見つめ、生活を見直し自ら節制したりすることの大切さに気づかせたい。

導入 『みなさんは、5年生になって生活に関する目標を立てましたね。』

目標を意識して生活しているかな。」

目標は立てるが、なかなか振り返る時間がない。しかし、達成させるためにどんな気持ちをもったらいいか、何を大切にしたらよいか等、じっくり考え日々意識して生活することが大切である。

※教材を有効に活用するために
次から次へと欲しいものを手に入れることで欲求を満たそうという気持ちは、人への思いやりや、物を大切にするという豊かさを失わせてしまう。
冷静さを取り戻したまゆみ自分が自分の心に向き合った時、何に気づいたのかを考えながら、児童一人一人が自分の心にも向き合い、今の自分の生活を振り返れるようにしたい。

教材を通して自分の生活をしっかりと見つけさせたい

「まゆみは、ジーンズを買ってほしい気持ちを聞き入れてくれないお母さんに対してどんな気持ちでいるでしょう。」

発問①

- C：こんなにお願いしても分かってくれないなんて。
- C：みんなかっこいいジーンズはいてくるのに、わたしだけ古い服なんて嫌だ。
- C：母さんには流行のことがわかんないのかも。
- C：お母さんのケチ。買ってくれないじゃない。

発問②

- 「黙って部屋に入ってきたがし物をしてるわたるに対して、まゆみはどんな気持ちでいるでしょう。」
- C：勝手に人の部屋に入るなんて何なのよ
- C：机の上を触らないで。
- C：ジーンズのことイライラしているのに、わたるまでわたしを怒らせるの？
- C：ゲームの本のことなんてすっかり忘れてた。

発問③

- ◎ 「部屋を見回しながら母やわたるの言葉を思い出し、まゆみはどんなことを考えていたでしょう」
- C：部屋が散らかっているなあ。 C：洋服や本が出っぱなしだ。
- C：物があふれていて、しまう場所がない
- C：お母さんがいうように洋服を大切にしていないかもしれない。
- C：わたるは欲しいものをがまんしていたんだ。 C：今ある物を大事にしなくちゃ。
- C：いろんな物を持っているのにすぐ新しいものをねだって、わがままだったかもしれない。
- C：自分の事で頭がいっぱいで、お母さんやわたるの言っていることをぜんぜん聞いてなかった。

見つけよう 生かそう

「まゆみは、自分自身を見つめて、これから大切にしたいことについて気づいたと思います。」

みなさんは、自分の生活を振り返って大切にしたい事はどんなことですか。」

- C：早起きすることが目標だったのに遅くまで起きていて達成できていない。夜ゲームする時間を減らすことが大事だ。ゲームをやりたい気持ちをがまんする。
- C：まゆみと同じように次々新しいものをねだって物を大切にしていなかったことに気づいた。今本当に必要な物かどうかよく考えたい。
- C：忘れ物を減らすことが目標で、今頑張っている。時間割をそろえるのをめんどくさいと思わないでこれからはちゃんと宿題や持ち物の確認をちゃんとすることを心がけたい。

「くじに気づかせるのが大事」

自分の欲望が満たされないまゆみは、イライラして、冷静に母の言葉を聞くことができない。母が言おうとしていることについてきちんと考えようとしていない。
モヤモヤした気持ちを引きずり、気持ちを切り替えられないまま、まゆみは、弟わたるとの約束もすっかり忘れている。そして、自分のことは棚に上げて、わたる厳しく叱りつけてしまう。
このまゆみの自分勝手な心の有り様を深く考えさせる。

自分の部屋の前でたずむまゆみのイラストと共に、母親の言葉、わたるの言葉を提示して、深く考えさせる。
児童は様々な視点から考えを発表するので、全ての児童が考えを共有できるように板書を整理する。

素直に自分と向き合えるように発表を前提としない。

まゆみが気づいたことは、あえて出させず、児童一人一人の振り返りに結びつける。行為・行動への決意表明にならないように配慮する。